

東北大学大学院文学研究科 人文社会科学特別科目「災禍の人文社会科学」(2023年度1学期) 第3回

## 災禍における政治と専門知

田中重人 (東北大学文学研究科教授)

Google Classroom で公開する動画を視聴すること。

### 動画目次

- 課題 (00:01:06)
- 今日のテーマ (00:02:35)
- 医療における EBM (00:07:02)
- 政治への応用 (00:18:40)
- COVID-19 対応の「日本モデル」 (00:34:20)
- 「日本モデル」にエビデンスはあったか? (00:49:48)
- 「3密」批判と定義変更 (00:59:10)
- クラスタ対策への批判 (01:10:10)
- まとめ (01:20:53)

( ) 内は、動画中の時間

### レポート課題

受講者各自の研究テーマや専門分野について、研究成果が政治的に使われるケースとしてどんなことがあるか、またその際にどのような問題が生じるか、論じよ。

※ 課題の分量について、動画中で「500字程度」と発言していますが、正しくは「500字以上」です。

### 参考文献

アジア・パシフィック・イニシアティブ (2020) 『新型コロナ対応民間臨時調査会 調査・検証報告書』ディスカパー・トゥエンティワン。

河合香織 (2021) 『分水嶺：ドキュメント コロナ対策専門家会議』岩波書店。

D. L. Sackett ほか (1999) 『根拠に基づく医療: EBM の実践と教育の方法』オーシーシー・ジャパン。

田中重人 (2020) 「感染症対策「日本モデル」を検証する: その隠された恣意性」『世界』934: 97-104。

田中重人 (2021) 「「3密」概念の誕生と変遷: 日本の COVID-19 対策とコミュニケーションの問題」『東北大学文学研究科研究年報』70: 140-116。

Tanaka Sigeto (2023) “Was Japan’s cluster-based approach toward coronavirus disease (COVID-19) a fantasy?: Re-examining the clusters’ data of January-March 2020”. Research Square. doi:10.21203/rs.3.rs-2647575/v1

田中重人 (印刷中) 「日本の COVID-19 対応における多義語「クラスター」の用法: 2020年の記録」『文化』86(3/4)。

※ その他の資料は動画／スライド中に表示。